

## 会社組織にしたことで 顧客の信頼も断然アップ

2002年2月、4年間勤務したソフトウェア開発会社を退職して故郷の氷見市にUターン、フリーのプログラマとして再出発した東海さん。退職した会社からの仕事を請け負うほか、地元の商工会議所やSOHO団体の紹介でも仕事を受注するなど、まずは順調な滑り出し。しかし、1年が過ぎたころから、徐々に限界が見えてきた。

「同じくソフト開発会社で働いていた妻と2人で仕事をしていたのですが、個人

事業では2人のキャパシティに見合った仕事しか受注できない。法人化して体制を整える必要を痛感したんです」

そんな時、SOHO事業者向けの雑誌で最低資本金規制特例制度が施行されたことを知る。さっそく会社設立を決意、自力で設立の手続きを行う。

「法務局の担当者もこの制度の手続き方法を知らなかった。調べながら手続きを進め、完了まで2カ月かかりました」

こうして2003年5月、資本金100万円で(有)スカイ・アイティーを設立。以後、もくろみどおり受注は右肩上がりに伸びている。「やはり会社組織というこ

とで、お客さまにも信頼感を持っていただけるようです」と東海さん。また、人材リクルーティングの面でも、会社組織にした効果は大きいという。

「やはり個人事業では人は来てくれませんから。昨年11月に社員を1人採用。あと1、2名はすぐにでも欲しいです」

現在の業務は中小企業向けのシステム開発が中心。その他、パソコン教室やホームページ作成なども手がけている。

「目指すは年商1億円。インターネットを利用して、全国に事業展開したいですね。『富山のIT企業』スカイ・アイティー」となるべく、頑張っています！」

とうかい・ゆうしん 1976年、富山県生まれ。情報処理の専門学校と短大をダブルスクールで卒業後、富山県に本社のあるソフト開発会社に就職。神奈川支社に配属され、プログラマ、SEとして3年、営業として1年勤務する。2002年2月、富山県にUターンし、フリーのプログラマとして事業をはじめ。廃業届けを出し2003年5月、(有)スカイ・アイティーを設立。

設立	2003年5月
資本金	100万円
従業員数	3人
事業内容	コンピュータソフトウェアの開発・販売。パソコン教室の運営。ホームページの作成
URL	<a href="http://www.skyit.jp">http://www.skyit.jp</a>

## 起業が私たちをこんなに変えた!

### Before

個人事業ではキャパシティに見合った仕事しか受注できない。さらなる業務拡大のためには法人化して、会社としての体制を整えることが不可欠。

### After

会社組織ということで顧客に信頼感を持ってもらえ、受注が増加。また、人材のリクルーティングのうえでも会社組織であるほうが有利だった。

富山県氷見市  
(有)スカイ・アイティー  
代表取締役

脱サラ

## 東海裕慎さん



事業の拡大を目指し  
個人事業を会社組織化。  
富山から日本全国に向け  
技術を発信